

ロータンクフタの変更方法

アメージュZA シャワートイレ (DT-ZA2※型)
ベーシア シャワートイレ (DT-BA2※型)

このシャワートイレは、手洗付ロータンクから手洗無ロータンクへ、またはその逆(裏面に記載)にも変更できます。変更手順は以下の通りです。

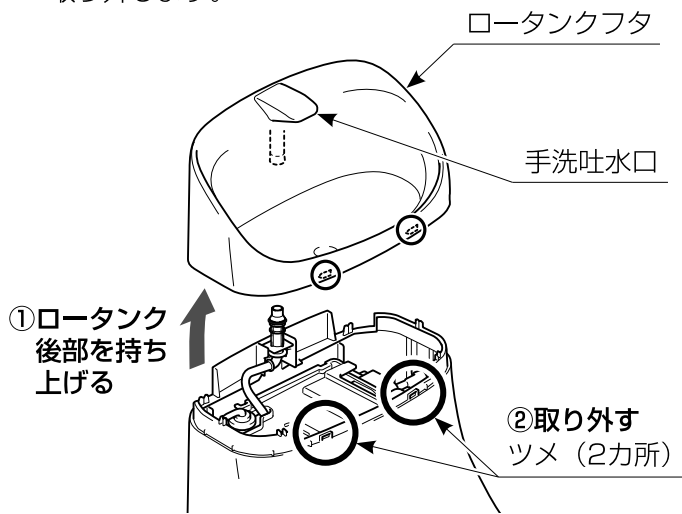
■手洗付を手洗無に変更する場合 (手洗無を手洗付に変更する場合は、裏面参照)

1 ロータンクフタ・中フタの取外し

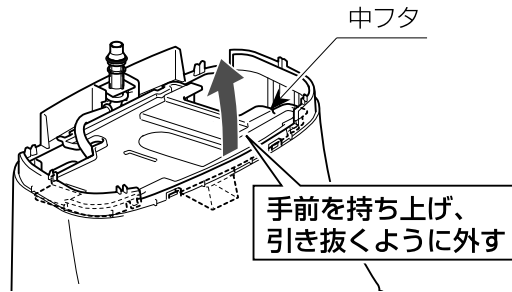
- (1)コンセントから電源プラグを抜きます。
(2)止水栓を閉めます。 **注意1参照**

- (3)ロータンクフタを外します。 **注意2参照**

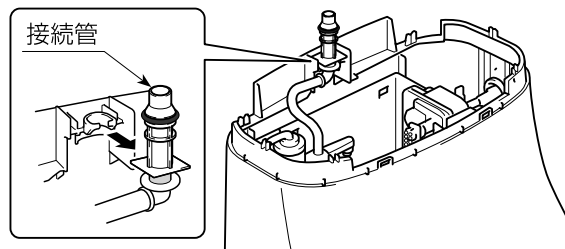
- ①ロータンクフタの後部を持ち上げます。
②手前のツメ(2カ所)を外し、ロータンクフタを取り外します。



- (4)中フタを外します。



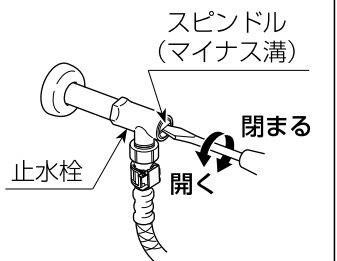
- (5)接続管を外します。



注意1

止水栓のマイナス溝は樹脂製ですので傷をつける恐れがあります。以下の点に注意してください。

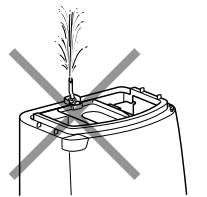
- マイナス溝にあったマイナスドライバーを使用してください。
- 止水栓を開く場合は、固着を防ぐため必ずスピンドルを前回の位置から半回転戻しておいてください。



注意2

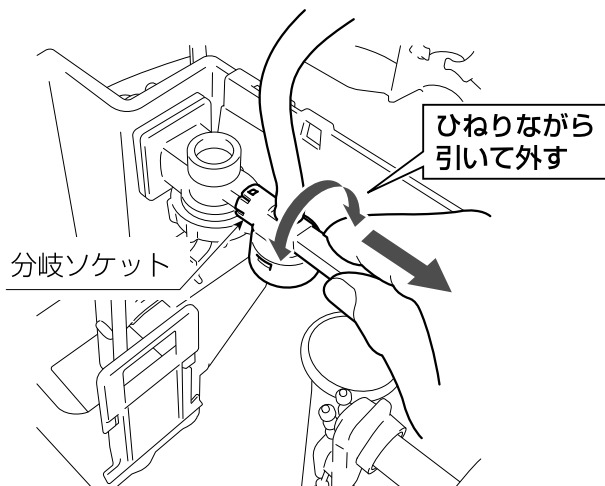
ロータンクフタを外す前に、電源プラグを抜いてください。

※接続管から水が噴き出し、床や壁を濡らす恐れがあります。また、電装部品に水がかかると故障の原因となります。

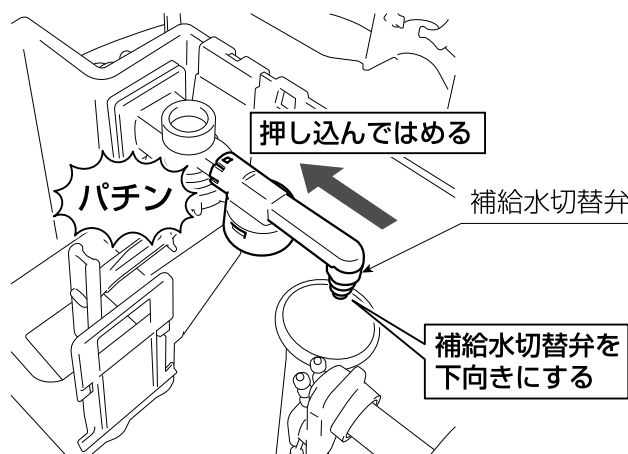


2 分岐ソケットの交換

- (1)既存の分岐ソケットを外します。



- (2)新しい分岐ソケットを取り付けます。 **注意3参照**



注意3

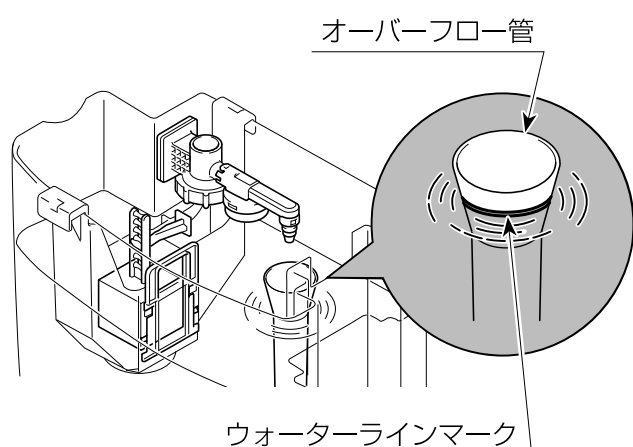
- しっかり奥まで差し込んでください。
※半差しの場合、接続部から水が飛び出し、タンクの外に漏水する原因となります。
- 補給水切替弁を下向きにして取り付けてください。
※向きを間違えると漏水の原因となります。

3 水位調整とロータンクフタの取付け

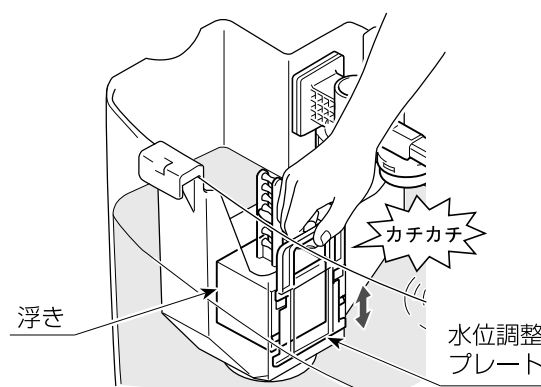
- (1)止水栓を全開にして通水します。 **注意1参照**

- (2)止水位を確認します。

- ①水位がオーバーフロー管のウォーターラインマークに合っていることを確認します。合っていない場合は、②の作業を行います。



- ②水位調整プレートで水位を調整します。この時、浮きの高さは変更しないでください。※水位調整プレートに浮きが引っかかり、給水しない原因となります。 **注意4参照**

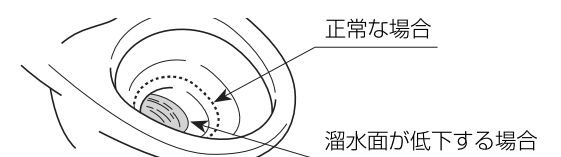


プレートを上げる=水位が上がる
プレートを下げる=水位が下がる

- (3)中フタを取付けます。
(4)ロータンクフタを取付けます。
(5)コンセントに電源プラグを差します。

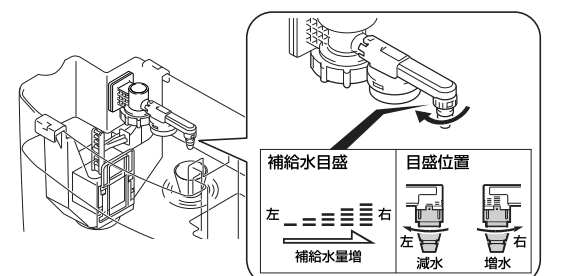
注意4

溜水面が低下する際は、便器の性能が十分に得られない可能性があります。その場合は、下記の調整作業を行ってください。



調整方法

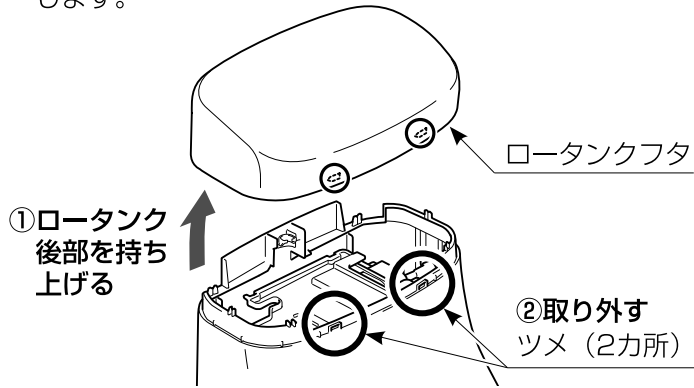
溜水面が低下しなくなるまで、補給水切替弁を右に回して調整します。



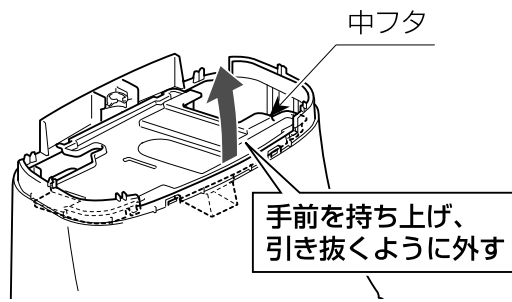
■手洗無を手洗付に変更する場合（手洗付を手洗無に変更する場合は、表面参照）

1 ロータンクフタ・中フタの取外し

- (1)コンセントから電源プラグを抜きます。
- (2)止水栓を閉めます。 **注意1参照**
- (3)ロータンクフタを外します。 **注意2参照**
 - ①ロータンクフタの後部を持ち上げます。
 - ②手前のツメ（2カ所）を外し、ロータンクフタを取り外します。



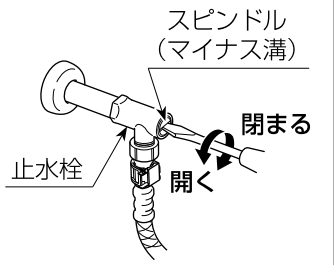
- (4)中フタを外します。



注意1

止水栓のマイナス溝は樹脂製ですので傷をつける恐れがあります。以下の点に注意してください。

- マイナス溝にあったマイナスドライバーを使用してください。
- 止水栓を開く場合は、固着を防ぐため必ずスピンドルを前回の位置から半回転戻しておいてください。

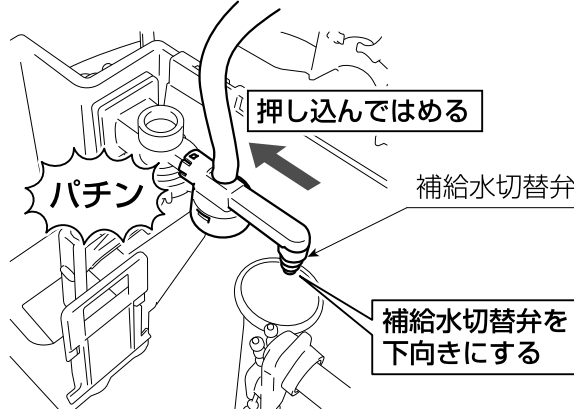


注意2

ロータンクフタを外す前に、電源プラグを抜いてください。
※フルオート便器洗浄が作動し電装部品に水がかかると故障の原因となります。

2 分岐ソケットの交換

- (1)既存の分岐ソケットを外します。 **注意3参照**
- (2)新しい分岐ソケットを取り付けます。 **注意3参照**



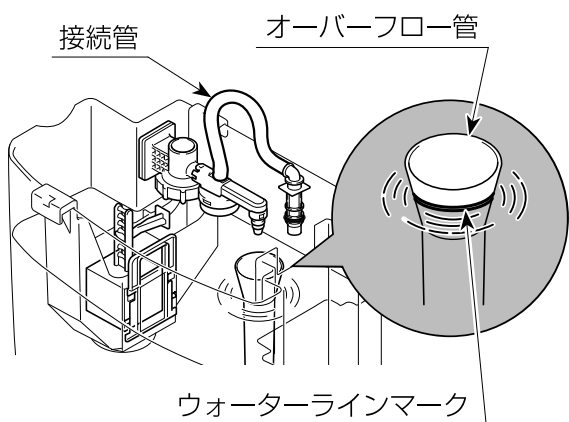
注意3

- しっかり奥まで差し込んでください。
※半差しの場合、接続部から水が飛び出し、タンクの外に漏水する原因となります。
- 補給水切替弁を下向きにして取り付けてください。
※向きを間違えると漏水の原因となります。

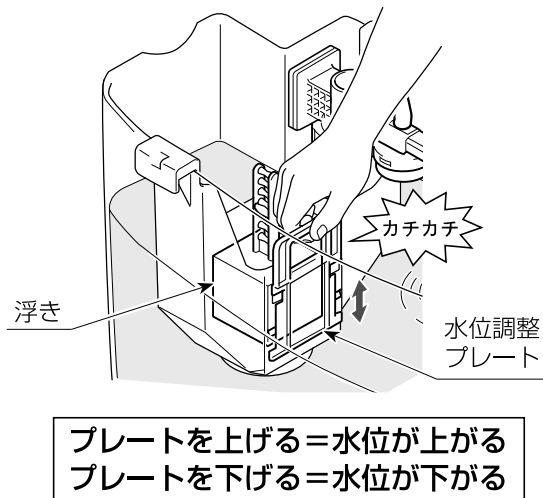
3 水位調整

- (1)接続管をタンク内に下向きにします。
- (2)止水栓を全開にして通水します。 **注意1参照**
- (3)止水位を確認します。

- ①水位がオーバーフロー管のウォーターラインマークに合っていることを確認します。
合っていない場合は、②の作業を行います。



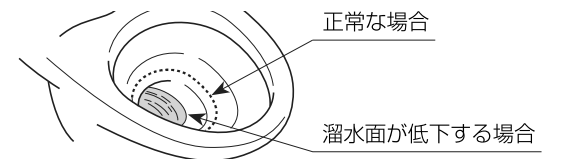
- ②水位調整プレートで水位を調整します。
この時、浮きの高さは変更しないでください。
※水位調整プレートに浮きが引っかかり、給水しない原因となります。 **注意4参照**



- (4)止水栓を閉めます。 **注意1参照**

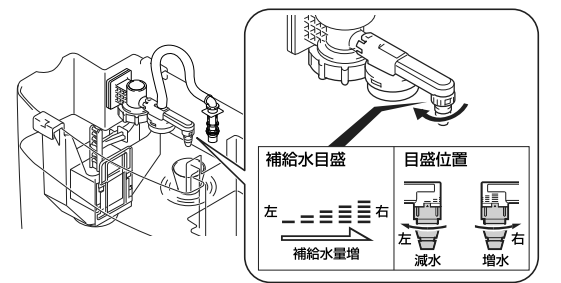
注意4

溜水面が低下する際は、便器の性能が十分に得られない可能性があります。
その場合は、下記の調整作業を行ってください。



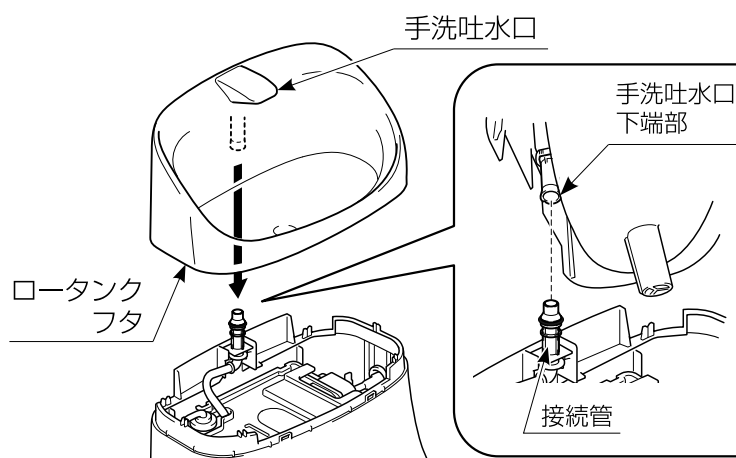
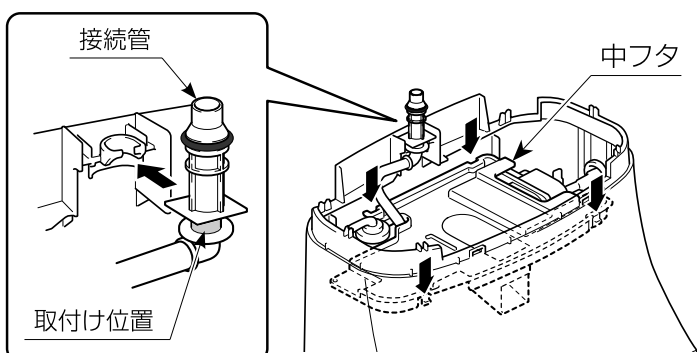
調整方法

溜水面が低下しなくなるまで、補給水切替弁を右に回して調整します。
※調整の際は、接続管を下に向けてください。



4 ロータンクフタの取付け

- (1)接続管を取り付けます。
- (2)中フタを取り付けます。
- (3)手洗吐水口下端部に接続管を差し込みます。 **注意5参照**



- (4)止水栓を全開にして通水します。 **注意1参照**
- (5)コンセントに電源プラグを差します。

注意5

ロータンクフタが浮いていたり、ぐらつく場合は、差し込み不十分ですので、再度差し込み直してください。
※漏水の原因となります。